

実践ライブラリー：高等部国語科「ディベートをしよう」

みんなと仲良くしたい。自分の話を聞いてほしい。自分の意見が通らないのはなんでだろう…

筋道を立てて話したり、相手の意図を考えながら話を聞けるようになってほしい。友だちの意見を聞き、客観的視点から判断できるようになってほしい。

①ディベートって何だろう？

ディベートについて説明している動画を見て、ディベートのイメージをもった。自分の意見ではなく、相手をいかに説得できるかが大切であることを押さえた。

おすすめポイント

YouTubeでディベートに関する動画を視聴！イメージができて、授業への意欲も高まりました。

②「学校に制服は必要か？」

上記のテーマを用いて、順番にポイントをおさえて学習した。

①制服のいいところ、困るところを考える。

②くじで引いた立場（賛成・反対）で、理由を考える。

③それぞれの立場の意見を聞いて、質問を考える。

④質問を受けて、最終弁論を考える。

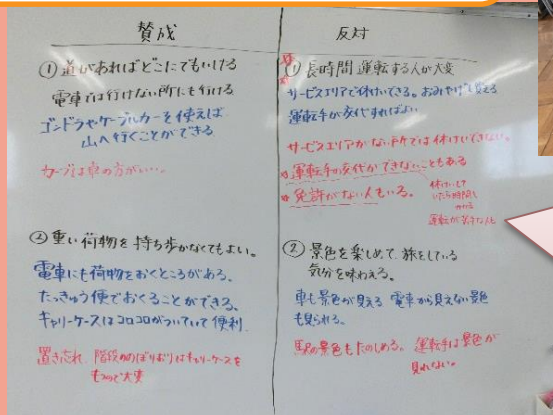
1段階ずつみんなできやり方、方法を押さえていった。

子どもの反応

最初は難しかったけど、やってみるとおもしろい！理由は相手が納得しそうなものを選んだよ。

③ディベートをしよう

3人ずつのグループを設定。3チーム作り、賛成派、反対派、審判・司会を順番に経験した。自分で考える⇒グループで相談する時間を事前に設定したことで、それぞれの意見をもちより、より説得力のある理由を考えることができた。理由が考えられなかった生徒も、友だちの意見をヒントに理由を考えられた。ディベートは、司会原稿を用意し、生徒達で会を進められるようにした。合計3回実施。繰り返し行ったことで、コツをつかみスムーズな話し合いができた。



おすすめポイント

出てきた意見は教師が板書し、情報の整理をしました。聴いた内容を忘れてしまう子にも有効でした。